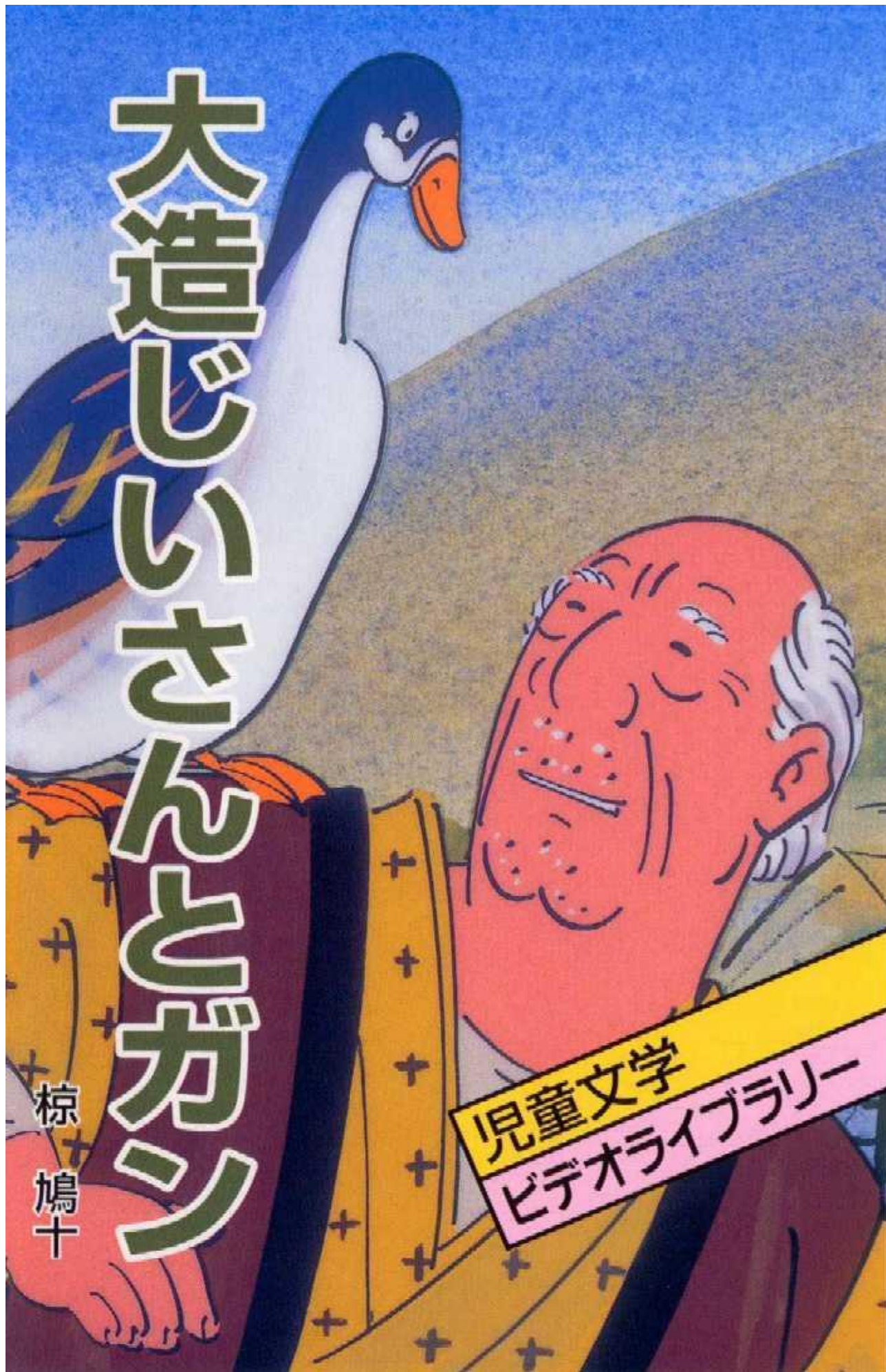


大造じいさんとガン

椋鳩十

児童文学

ビデオライブラリー



大造じいさんとガン

原 作 十 嶋 椋



知り合いの狩人にさそわれて、イノシシ狩に出かけ、栗野岳のふもとの大造じいさんの家に集まりました。

じいさんは、七十二歳だというのに、腰ひとつ曲がっていない、元気な老狩人でした。そして、なかなか話し上手な人でした。血管のふくれた、がんじょうな手を、いろいろのたき火にかざしながら、それからそれと、愉快的狩の話をしてくれました。

その話の中に今から三十五、六年も前、まだ栗野岳のふもとの沼地に、ガンがさかんに来た頃の、ガン狩の話がありました。

.....

大きな丸太がパチパチと燃え上がり、しょうじには自在かぎとなべがうつり、すがすがしい木の匂いのする煙の立ちこめている、山家のろばたを想像しながら、この物語を鑑賞して下さい。